

第1学年体育科学習指導案

日 時：令和元年12月11日（水）5校時

場 所：品川区立戸越小学校 校庭

対 象：第1学年1組 33名

授業者：岡本 菜央

研究テーマ

進んで運動に取り組む児童の育成 ～学び合い、達成感の味わえる体育学習～

1 単元名 器械・器具を使つての運動遊び「こていしせつ・てつぼうあそび」

2 運動の特性

機能的特性	個々の力に応じて、渡る・進む・登る・上がる・回る・下りる・ふる・ぶら下がる・跳び下りるなどの動きを楽しめる運動である。
構造的特性	できない遊びができるようになった時、喜びを感じ、さらに意欲を持つことのできる運動である。
効果的特性	自分に合った動きに挑戦し、できるようになったことを楽しむ運動である。

3 単元の目標

知識及び技能	・固定施設・鉄棒を使った運動遊びの楽しさに触れ、その行い方を知るとともに、その動きを身に付けることができる。
思考力・判断力・表現力等	・固定施設・鉄棒を使った、簡単な遊び方を工夫することができる。
学びに向かう力、人間性等	・運動に進んで取り組み、順番やきまりを守り、仲良く運動したり、場の安全に気を付けたりすることができる。

4 評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元の評価規準	・固定施設・鉄棒を使った運動遊びの楽しさに触れ、進んで取り組もうとする。 ・固定施設・鉄棒の行い方を知るとともに、その動きを身に付けることができる。	・運動遊びの行い方を知り、楽しく遊ぶことができる場や遊び方を選んでいる。 ・友達のよい動きを見つけている。	・運動に進んで取り組んでいる。 ・場の安全に気を付けている。 ・順番やきまりを守り、仲良く運動をしている。
学習活動に即した評価規準	①固定施設を使って、登り下りや懸垂移動、渡り歩きや跳び下りをしたり、逆さ姿勢などを取ったりすることができる。 ②鉄棒を使って、支持して上がり下りや易しい回転やぶら下がりができる。	①運動をする場や使用する器械・器具を変えながら、色々な運動の仕方を見つけている。 ②器械・器具を使って運動遊びの仕方を知り、活動を工夫している。 ③友達のよい動きを見つけている。	①運動遊びを楽しむ活動に進んで取り組むことができる。 ②安全を確かめることができる。 ③運動の順番やきまりを守り、友達と仲良く運動することができる。

5 児童の実態・アンケート結果

1年生では、体育の学習時間において、1学期に「固定施設遊び」を3時間、「鉄棒遊び」を2時間、10月には「固定施設遊び」を3時間、「鉄棒遊び」を3時間行った。また、11月は学校の取り組みで、鉄棒名人、ジャングルジム、うんていビンゴを休み時間に行ってきた。取り組みの結果、休み時間に進んで練習したり、楽しんだりする姿が多く見られるようになってきている。1学期には鉄棒での腕支持が上らなかった児童もいて踏み台を使っていたが、11月には1名以外の児童が跳び上がりからの腕支持がしっかりできるようになってきて、達成感をもって練習をしている様子が見られた。11月末の時点で、ジャングルジム名人が7名となっており、まだ日に日に増えてきている。うんていは2つとぼしが体型的に難しく、鉄棒は休み時間の使用割り当てが週に一度と他学年より少ないため、名人となっている児童はいないが、学習カードにシールをもらいたいと進んでチャレンジしている児童が多くいる。

固定施設・鉄棒遊びが定着してきた11月中旬に、「てつぼう・うんてい・ジャングルジムあそび」についてのアンケートを行った。1名を除いた児童が「てつぼう・うんてい・ジャングルジムあそび」を好きと答えており、楽しんでいることが分かる。その中でも「できるようになるとうれしいから」を理由に挙げている児童が半数、続いて「先生やともだちにほめられるとうれしいから」となっており、学習カードが意欲につながっていることが分かる。3つの固定施設の中で一番好きなものは、ジャングルジムが1位（14名）となり、「たかいところがすき。気持ちがいい。けしきがいい。」「おにごっこがたのしい。」と、ジャングルジムの特性を生かして楽しんでいる。2位は鉄棒（10名）で、「いろいろなわざができる。」「まえまわりができる。」「さかあがりができる。」などと、技の上達を楽しみと感じている。3位はうんてい（7名）で、「さいごまでいける。」「むずかしいけどできるようになるとうれしい。」など、端までゴールすることの達成感が楽しみになっている。いずれの遊具もそれほど差はなく、1年生なりに遊具の特性を生かした楽しさを感じており、どの遊具でも楽しく遊んでいるようだ。

一方で「てつぼう・うんてい・ジャングルジムあそび」を嫌いと答えた1名は理由を「つかれるから。」としていたが、鉄棒・うんてい・ジャングルジム全てで技はよくできる児童であった。1年生では必ずしも、できる＝楽しい、できない＝嫌いとはならないことが分かった。今後も苦手意識を持たずに取り組んでいけるために、この時期にたくさん遊びの経験を積ませたいと考え、固定施設・鉄棒遊びのまとめの学習の場として、「とごしフレンドパーク」で友達とたくさん遊べる単元を設定した。自分のできる遊びやできそうな遊びに取り組む中で自信をつけ、友達の真似をしたり遊び方を工夫したりすることで運動遊びの数を増やし経験を積み、鉄棒運動につながる基礎感覚を身に付けていけるようにしたいと考えた。

6 分科会提案

(1) 目指す児童の姿

- ・固定施設遊びや鉄棒遊びの行い方を知り、その動きを身に付けることができる児童（知識及び技能）
- ・簡単な遊び方を工夫するとともに、友達のよい動きを見つけられる児童（思考力、判断力、表現力等）
- ・運動遊びの楽しさに触れ、進んで遊びに取り組む児童（学びに向かう力、人間性等）

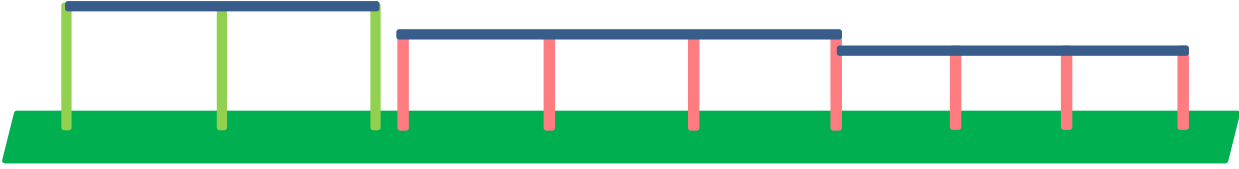
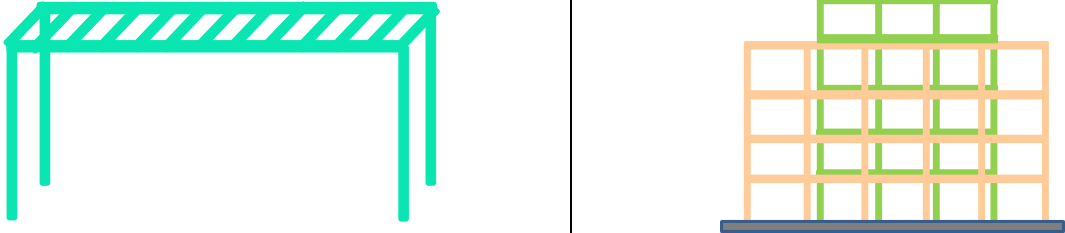
- 個々の目指す児童の姿
- A いろいろな技に取り組んだり簡単な遊び方を工夫したりするとともに、友達のよいところを見つけることのできる児童
 - B いろいろな技に取り組むとともに、友達を見ながら楽しく運動できる児童
 - C 自分ができる技に取り組んでいる児童

(2) 分科会が考える目指す授業に向けた手立て

①子どもが楽しく学び、達成感をもてる授業に向けた手立て

○場の工夫

児童がいろいろな遊びに取り組むことができる場を設定した。

たかいてつぼうゾーン	ひくいてつぼうゾーン
	
<p>さかさまあそび</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぐるぐるだるま ・ぶらぶらこうもり <p>ぐるぐるあそび</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まえまわり ・ちきゅうまわり <ul style="list-style-type: none"> ・ぶたのまるやき ・そのほかのあそび <ul style="list-style-type: none"> ・足ぬきまわり ・さかあがり 	<p>つばめあそび</p> <ul style="list-style-type: none"> ・つばめ10びょう ・じてん車こぎ20かい <p>ぐるぐるあそび</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まえまわり ・ちきゅうまわり <ul style="list-style-type: none"> ・つばめジャンプ ・そのほかのあそび <ul style="list-style-type: none"> ・足ぬきまわり ・さかあがり
うんていゾーン	ジャングルジムゾーン
	
<p>ゴーゴーあそび</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひとつずつすすむ ・ひとつとばし <p>ストップあそび</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スーパージャンプ ・かた手じゃんけん3かいかつ <ul style="list-style-type: none"> ・よこわたり ・そのほかのあそび <ul style="list-style-type: none"> ・足じゃんけん3かいかつ ・そのほかのわざ 	<p>ゴーゴーあそび</p> <ul style="list-style-type: none"> ・のぼりおり ・じゃんぐるくぐり <p>ストップあそび</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モンキー10びょう ・ひこうき <ul style="list-style-type: none"> ・かにあるき1しゅう ・そのほかのあそび <ul style="list-style-type: none"> ・はいひょっこりはん ・そのほかのあそび

○技術の向上につながる教師の声掛けの工夫

難しい技や新しい技に進んで取り組んでいる児童を積極的に賞賛し、鉄棒運動につながる基礎感覚を身に付けることにつながる言葉掛けを行っていく。

意識して掛ける言葉 (例)

- ・うでがぴんと伸びているね。(鉄棒・ジャングルジム)
- ・足の先まで伸びて、じっと止まっているね。(鉄棒、ジャングルジム)
- ・腕の勢いをつかって、体を大きく揺らしているね。(うんてい)
- ・小さくなって、回っているね。(鉄棒)
- ・大きく足を振って回っているね。(鉄棒)
- ・しっかりと手で握っているね。(鉄棒、うんてい、ジャングルジム)
- ・腕だけでなく、体全体を使って前に進んでいるね。(うんてい)
- ・手と足をリズムよく動かしているね。(うんてい)

また、自信がもてない児童には、簡単な運動遊びから取り組ませたり、できたことを称賛したりして、肯定的な働き掛けができるようにするなどの配慮をする。

主体的に学習に取り組む態度

- ・話の聞き方がすばらしい。
- ・背筋がピンと伸びていていいね。
- ・友達を見て、自分もかっこよくしようと思ったんだね。かっこいい。
- ・体育座りがしっかりできているね。
- ・集まるのがはやいね。
- ・よく話を聞いていたね。
- ・素早く取り組もうとしていたね。
- ・何回も繰り返し取り組んでいるね。
- ・安全に気を付けて運動しようとしていたね。

思考・判断・表現

- ・友達に応援してもらったらできるようになったね。
- ・友達にしっかり声を掛けていたね。

知識・技能

- ・低いところでやってみよう。
- ・いくつ渡れるか数えてみよう。
- ・踏み台や補助台を使ってみよう。

○遊び方の資料の提示

児童には一人ずつワークシートを持たせ、校内での遊具名人で取り組んだ技と自分で考えた技に挑戦できるようにしている。また、遊具名人で取り組んだ技については、遊具の近くに資料が提示してある。教師が児童を観察して、資料を必要としていたと感じた場合、この資料を見させて選ばせたり、一緒に選んでいったりすることができるようにする。

②友達の良いところを見つけ、学び合える授業に向けた手立て

○学習カードの工夫

友達の良いところを見つけ、お互いにまねし合ったり、声を掛け合ったりして学習ができるよう、友達の技ができていたらシールを貼らせ、友達との関わりにも意識をもたせていく。

○関わり合いをもたせるための工夫

児童が意欲的に運動遊びに取り組むことができるよう、ペアの編成をして、関わり合いをもたせるための工夫を行う。ペアの編成は、生活班の中で2人組をつくり、単元の3時間では3回とも違う児童と2人組になるようにする。

○よい動きをしている児童への称賛、紹介の工夫

1人で好きな遊びに没頭する低学年という発達段階において、友達の動きに目を向けるきっかけをつくるのは、教師が果たす大きな役割であると考えます。そこで、児童がどのような動きがよい動きなのかわからないうちは、教師は「かっこいいな、すごいな、まねしてみたいな、まねしてやってみたらおもしろかったな」と思う友達の動きを見つけようと声を掛けるようにする。同時に教師は鉄棒運動につながる基礎感覚が身に付いている児童を見つけて紹介していく。そして、それらを広めるために、遊んでいる場ごとや全体などで、よい動きをしていた児童にやらせてみるなどして広めていくことが効果的であると考える。

5 単元指導計画

時		1	2	3 (本時)
本時の主なねらい		<ul style="list-style-type: none"> ・「とごしフレンドパーク」のルールを知り、安全に運動することができる。 ・今もっている力で、振ったり回ったり支持したり跳び降りたりして、その楽しさを味わうことができる。 ・学習の進め方や約束、準備や片付けの仕方を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今もっている力で、振ったり回ったり支持したり跳び降りたりして、その楽しさを味わうとともに、できなかった技や新しい技に挑戦し、その喜びを味わうことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・場に応じた動きを工夫したり、友達の動きをまねしたりして、運動を楽しむことができる。
学習活動		1. 集合・整列をする 2. 学習の進め方を知る 3. 準備運動をする 4. 体慣らしの運動をする 5. 本時の学習のめあてを確認する 「あそびかたをしろう。」 ○今までやってきた技の振り返りをする。 ○安全とルールの確認をする。 ・コースの回りかたを知る。 ・少し離れたところで友達を見て応援する。 ・ぶつかるときは、得意な子が譲ってあげる。 6. とごしフレンドパーク ○4つのゾーンを順番に回って運動を楽しむ。	5. 本時の学習のめあてを確認する 「あたらしいわざにちょうせんしよう。」 ○前時の振り返りをする。 ○難しかった技を紹介する。 ○上手にできたこつを紹介する。 ○安全とルールの確認をする。 6. とごしフレンドパーク ○4つのゾーンを順番に回って運動を楽しむ。	5. 本時の学習のめあてを確認する 「もっとたのしくあそぼう。」 ○前時の振り返りをする。 ○新しく考えた技を紹介する。 ○できるようになったこつを紹介する。 ○新しい道具の使い方を紹介する。 ・けんステップ ・玉入れの玉 ・跳び箱 6. とごしフレンドパーク ○4つのゾーンを順番に回って運動を楽しむ。
		7. 整理運動をする	8. 学習を振り返る	9. 集合・整列をする
評価の重点	知識・技能	①	②	
	思考・判断・表現	①	③	②
	主体的に学習に取り組む態度	①	③	②
児童の具体的な姿		<ul style="list-style-type: none"> ・運動遊びに進んで取り組もうとしている。 ・友達と仲良く、活動をしている。 ・学習の進め方や約束、準備や片付けの仕方を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動の順番やきまりを守り、新しい動きに挑戦をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動遊びの行い方を理解して、遊び方を工夫している。
つまずきの例		<ul style="list-style-type: none"> ・固定施設遊びが怖い。 ・学習の進め方が分からない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・固定施設遊びが怖い。 ・新しい動きに挑戦できない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・固定施設遊びが怖い。 ・工夫の仕方が分からない。

6 本時の展開 (3 / 3 時間)

(1) ねらい

【思考・判断・表現】

固定施設・鉄棒を使って楽しく遊ぶことができる場や遊び方をしている。

【主体的に学習に取り組む態度】

運動する場や遊具の使い方などの安全に気を付けようとすることができるようにする。

(2) 展開

学習活動	○指導上の留意点 ◇評価
1 集合・整列をする。 2 学習の進め方を知る。 3 準備運動をする。 ・コーディネーション ・ストレッチ ・手首足首の運動 4 体慣らしの運動をする。	○掲示物を用いて、本時の学習の進め方を説明する。 ○固定施設で使う、部位を意識した運動を行う。 ○コーディネーションの運動を行う。 ○ジャングルジムじゃんけんをする。
5 本時の学習のめあてを確認する。	○掲示物を用いて、本時のめあてを確認する。
もっとたのしく あそぼう	
6 とごしフレンドパーク <div style="border: 2px solid orange; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>☆ジャングルジムゾーン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ストップあそび ・ゴーゴーあそび <p>☆うんていあそび</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ストップあそび ・ゴーゴーあそび <p>☆ひくいてつぼうゾーン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・つばめあそび ・くるくるあそび <p>☆たかいてつぼうゾーン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぶらぶらあそび </div> <p>ルール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5分ずつペアで回る。 ・友達と交代で行い、できた技にシールを貼ってあげる。 ・移動の際は、ケンケンロード・ぴよんぴよんロード・くねくねロード・よちよちロードを通る。 <p>安全確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少し離れたところで見、応援する。 ・ぶつかるときは、得意な子が譲ってあげる。 	○前時を振り返り、カードに載っていない技や新しく考えた技を紹介する。 ○新しい道具を紹介する。 <div style="border: 2px solid orange; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・けんステップ → ジャンプ技の着地場所に置く ・玉 → ふりふりこうもりで玉入れをする ・跳び箱 → 鉄棒に跳びつく </div> ○それぞれの場でいろいろな動きや遊び方をして遊ぶ。 ○運動遊びの行い方を理解し、工夫している児童を称賛する。 ◇【主体的に学習に取り組む態度】 運動する場や遊具の使い方などの安全に気を付けようとするようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>苦手な児童、もっとやりたい児童への配慮</p> <p><苦手></p> <ul style="list-style-type: none"> ○低いところでやってみよう。(ジャングルジム) ○いくつ渡れるか教えてみよう。(うんてい) ○踏み台や補助台を使ってみよう。(鉄棒) <p><もっとやりたい></p> <ul style="list-style-type: none"> ○新しい技にチャレンジしよう。 ○もっと遠くに跳んでみよう。(うんてい・鉄棒) ○高いところでもやってみよう。(ジャングルジム・鉄棒) </div> ◇【思考・判断・表現】固定施設を使って楽しく遊ぶことができる場や遊び方を選んでいる。
7 整理運動をする。 8 学習を振り返る。 9 集合・整列をする。	○使用した部位を中心に整理運動をするように指示する。 ○めあての達成状況や感想を発表させる。

(3) 授業観察の視点

○場の設定は、動きや遊びが工夫出来るものになっていたか。

○関わり合いをもたせる工夫として、ペアの編成は有効であったか。